

STAGE+を楽しむ(26)(HP 収載)  
—ガーディナーのハイドンとモーツァルト—

1. 始めに

前報(25)に引き続き、STAGE+の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、ガーディナーのハイドンとモーツァルトの演奏を選びました。再生経路にはこれまでの仮想アース、MRF-005T に加えてスピーカーアキュライザーや LAN iSilencer も加わっています。

作品の概要と演奏者は次のとおりです。

ガーディナーがハイドンとモーツァルトを指揮  
イザベル・ファウストを迎えて

1. 再配信 2023 年 4 月 23 日 9:00
2. 再配信 2023 年 4 月 23 日 19:00

ヴァイオリニストのイザベル・ファウストとヴィオリストのアントワーヌ・タメスティは国際的に人気の高い奏者です。本映像はそんな二人の共演が実現した、2023 年 1 月のセント・マーティン・イン・ザ・フィールズのコンサートの模様です。ジョン・エリオット・ガーディナーと彼の手兵であるイングリッシュ・バロック・ソロイストが二人の音色に格調高い響きで寄り添いながらモーツァルトの作品の中でも珍しい《シンフォニア・コンチェルタンテ》が奏でられます。ハイドンの交響曲第 84 番の色彩の豊かさも魅力的です。

ソリスト:

アントワーヌ・タメスティ (ヴィオラ)、イザベル・ファウスト (ヴァイオリン)

アンサンブル:

イングリッシュ・バロック・ソロイスト

指揮:

ジョン・エリオット・ガーディナー

ヨーゼフ・ハイドン 交響曲第 84 番変ホ長調 Hob. I: 84

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト

ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲変ホ長調 K. 364

アントワーヌ・タメスティ(ヴィオラ)

イザベル・ファウスト(ヴァイオリン)

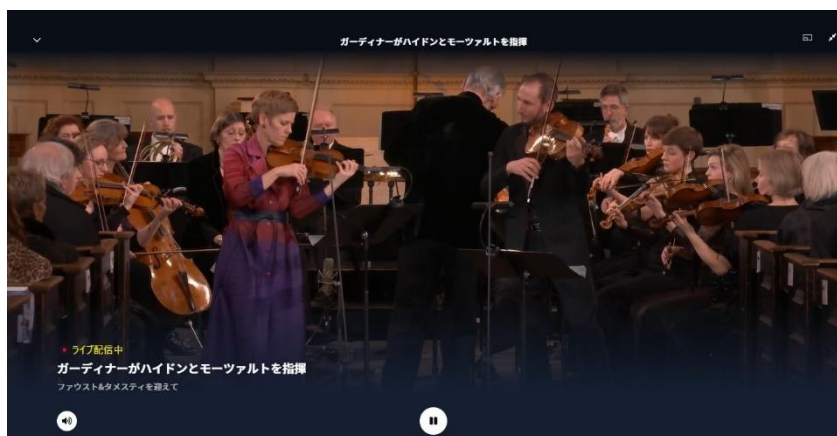
ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト

交響曲第 36 番ハ長調 K. 425 《リンツ》



### 3. 試聴の経過

9:00 からの再配信を試聴しました。受信は比較的安定しています。  
今回は、古楽器によるハイドンとモーツァルトの演奏です。





ハイドンの交響曲第 84 番は、室内管弦楽団程度の編成で、弦はガット弦のノンヴィブラートの演奏ですので、ハイドン当時の演奏はこのようなものであったかという印象です。

モーツァルトのヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲は、お馴染みの曲です。ファウストのヴァイオリンも、タメスティのヴィオラもともにガット弦のようで、演奏技量も確かで艶のある穏やかな音質です。

モーツァルトの交響曲第 36 番《リンツ》も定番です。モーツァルトの交響曲では躍動的な表情を見せませんが、ゆったり目のテンポでじっくり聴かせてくれます。ガーディナー指揮のイングリッシュ・バロック・ソロイストは、バロック音楽だけでなく、古典派音楽にも長けていることがよく分かります。

全般的に今回の演奏は、一連の仮想アース、MRF-005T とスピーカーアキュライザーや LAN iSilencer の効果も加わって、しっとりとした落ち着いた音質です。

さらに、今回、久しぶりに PC のヘッドフォン端子や、PC に接続した USB-DAC である micro iDSD Black のヘッドフォン端子でも聴いてみました。こちらの方は、PC とスイッチングハブに仮想アースを繋ぎ、ルーターからスイッチングハブの入力には LAN iSilencer をセットしていますので、従来に比べると、いちだんと音質が向上しています。



#### 4. まとめ

STAGE+配信のガーディナーによるハイドンとモーツアルトは、古楽器によるハイドンとモーツアルトの演奏です。これまでの仮想アース、MRF-005T に加えてスピーカーアキュライザーや LAN iSilence の効果も確認できました。

以上